

ユネスコ職員として 働くということ



～タイ・バン格拉デッシュと日本～

ユネスコ職員として、バン格拉デッシュの地域教育に携わっておられる大安氏から、仕事について、キャリアについてのお話をうかがいます。

2011年10月7日(金)

5限目(17:00～18:30)

発達科学部 B棟208教室



講師： 大安 喜一 氏
ユネスコ・ダッカ事務所
プログラム・スペシャリスト



大安氏は、兵庫県出身。立命館大学を卒業後、ユネスコに入り、タイのユネスコバンコク事務所で、アジア一円にCLC(地域学習センター)を開設・普及する仕事に携わってこられました。現在は、ユネスコのバン格拉デッシュ・ダッカ事務所に勤務しておられます。

アジアでCLCは、ノンフォーマル教育の方法として、学校教育の不足を補うとともに、地域住民の課題解決の拠点として重要な役割を担っています。日本の公民館とも類似点があり、この発展には日本の貢献が求められています。最近ではインドネシアやタイのリーダーシップのもとに、国際的なCLCのネットワークづくりが始まっています。大安氏は、こうした動きの **キーパーソン** のお一人です。

※参加申込不要 学部・学年を問わずご参加いただけます。

主催：神戸大学 人間発達環境学研究科

ヒューマンコミュニティ創成研究センター (HCセンター)

共催：神戸大学 人間発達環境学研究科・発達科学部 キャリアサポートセンター

問い合わせ HCセンター 078(803)7970 hc@ml.h.kobe-u.ac.jp

